

要保護児童対策について（こども支援部）

1. 児童相談の現状と課題

（1）入間市における児童相談件数の推移（資料1 関係：P1）

- ・相談件数は、年々増加し、H28、H29においては年間で7,200件程度。
- ・学校生活等にかかる件数は減少傾向にあり、全体の1割程度。
- ・虐待、環境福祉にかかる件数が大きく増加してきている。

（2）入間市における児童虐待人数の状況（資料1 関係：P2）

- ・児童虐待人数は28年度以降、急激に増加。
- ・要因としては、児童虐待に対する認識が一般化してきたことが挙げられる。
- ・児童相談所の一時保護件数も28年度以降増加。

◆埼玉県児童相談所の相談状況について（資料2 関係）

- ・県全体の相談受付状況は増加傾向。
- ・入間市と狭山市はほぼ差がない状況。

◆児童虐待マニュアルについて（資料3 関係）

- ・P30、第4章（2）⑤に学校、教育委員会との連携を記載。
- ・要保護児童対策地域協議会の内容はP32、33参照。

2. 市区町村における児童等に対する必要な支援を行う体制の整備（当日資料）

- ・市区町村子ども家庭総合支援拠点、各組織・機関の連携の必要性。

3. 児童虐待防止対策強化に向けた緊急総合対策について（当日資料）

- ・児童虐待防止対策に関する関係閣僚会議発出の「緊急総合対策」について

4. 入間市での取り組み方向にかかる意見交換

（1）現状の事業展開

- ①要保護児童対策地域協議会での対応
- ②学校との連携
- ③生活困窮者やひとり親家庭等への支援

（2）市と教育委員会の間における今後の連携要素

- ①児童をとりまく各機関における情報の共有・連携の推進
- ②教育センター（SSW）の取り組みと児童相談担当の連携の推進
- ③こどもの多様な居場所づくりの推進（公民館等社会教育施設の活用）
- ④家庭教育の充実